

令和2年度 学校評価 自己評価書

あま市立甚目寺南小学校

1 総括

(1) 教育目標

「考える子 心ゆたかな子 たくましい子」

児童一人一人のすぐれた個性を伸ばし、心身ともに健やかで、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図り、規則や規範を大切にして共に生きようとする児童を育成する。

(2) 本年度の重点努力目標

ア 現職教育の充実

- ・ 人権教育、道徳教育をもとに豊かな心を育成する。
… 温かい言葉の推奨、相手を傷つける言動に対する厳しい指導
- ・ 交流活動・体験活動を通して温かい心を育て、規範意識を高める。
- ・ いじめ調査やQ-Uの結果をもとに、教育相談活動を定期的に行い、いじめ、不登校の早期発見や未然防止に努める。
- ・ 教師自らが力量向上をめざし、授業研究を通して指導技術や学習効果の向上を図る。

イ 学習指導の充実

- ・ 発達段階に応じた学習規律
- ・ 分かる授業・きめ細かな指導の工夫
- ・ 学び合いの授業展開
- ・ 児童が興味をもつことができる授業の展開
- ・ 「漢字、計算コンクール」の継続
- ・ 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、学ぶことの楽しさと充実感を味わわせると共に学習する意欲を養う。

ウ 家庭や地域社会や他校との連携

- ・ 地域の人材（ゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、見守り隊等）や教材を教育活動に結びつけるよう努める。
- ・ 積極的な情報配信（ホームページ・学校通信など）
- ・ 学生ボランティアの活用
- ・ 幼保・中の連携を重視し、交流活動・情報交換を行う。

エ 健康・安全教育の充実

- ・ 安全に対する意識や危機に対する認識を深め、自ら安全に行動できる力や態度を育てる。
- ・ あらゆる場面での緊急事態、災害等を想定し、危機管理を徹底する。
- ・ 各種カードを活用し、目標に向かって楽しみながら体力向上を図る児童を育成する。

オ 多忙化解消にかかる業務改善

- ・ 会議資料を前もって参加者に渡し、熟読して会議に臨み、時間の短縮を図る。
- ・ 校務分掌の負担が集中しないように定期的に仕事内容の見直しをする。
- ・ 週1日定時退校日を設ける。

2 自己評価の実施体制

(1) 調査時期 令和3年1月（保護者・児童・教職員）

(2) 調査項目 別紙アンケート結果（保護者・児童）参照

(3) 調査対象 有効回答者数

- ・ 保護者 745名
 - ・ 児童 246名（5・6年を対象）
 - ・ 教職員 40名
- 計1,031名

3 調査結果

別紙アンケート結果（保護者・児童）参照

4 考察

- (1) **【児童が通いたくなる学校】** 保護者アンケート「子どもは楽しく学校へ行き、友達も多い」に対する肯定的回答（そう思う・どちらかといえばそう思う）が 90%を上回りました。児童アンケート「学校が楽しい」についても肯定的回答が 89%を上回りました。「児童が通いたくなる学校」づくりを今後も進めていき、児童アンケートの肯定的回答結果を更に上昇させていきたいと考えています。
- (2) **【交流活動・体験活動】** 保護者アンケート「学校行事からは、子どもが生き生きと活動している姿が感じられる」に対する肯定的回答が 91%を上回りました。児童アンケート「みんなで何かするのは楽しい」についても肯定的回答が 93%を上回りました。新型コロナウイルス感染予防にかかわって内容を変更した行事等もありましたが、学校行事や日常の授業などで子どもたちは生き生きと活動することができていると考えます。
- (3) **【いじめの根絶】** 保護者アンケート「学校（先生）は、いじめのない学級づくりにつとめている」や「学校（先生）は、基本的生活習慣や善悪の判断等をきちんと指導している」に対する肯定的回答が 93%を上回りました。『いじめの根絶』に向けて早期発見・早期対応を教職員が連携して取り組んでいる成果が現れている結果だと考えます。しかし、児童アンケート「暴力ではないがいじわるをされたり、いやな思いをさせられたりした」に対して「思う」「どちらかといえばそう思う」という回答が合わせて 16%でした。子ども同士のささいなトラブルからいじめに発展する場合も少なくありません。今後も教職員が一丸となって、いじめの早期発見・早期対応を進めていきたいと考えます。
- (4) **【分かる授業】** 保護者アンケート「学校（先生）は、子どもにとって分かりやすい授業をしている」に対する肯定的回答は 95%を上回りました。学習指導要領の改訂に伴い、教職員が研修を積み授業改善を進めていることが評価につながったと考えます。しかし、児童アンケート「授業に進んで取り組み、調べたり考えたりしている」や「授業がよくわかる」に対して肯定的回答が 80%程度にとどまっています。新型コロナウイルス感染予防にかかわって、授業中のグループ活動やペア活動に制約があったのも理由の一つと考えます。今後も、分かる授業・きめ細やかな指導の工夫を進めていく必要があると考えます。
- (5) **【健康・安全教育】** 保護者アンケート「安全体制が整い、子どもを安心して学校に行かせることができる」や「子どもは交通ルールを守って過ごしている」、「学校（先生）は、子どもの健康状態をよくつかんで適切に対処している」について肯定的回答はいずれも 90%を上回りました。交通安全教室をはじめ、様々な活動を通して、自ら安全に行動できる力を今後も育んでいきたいと考えます。
- (6) **【家庭との連携】** 保護者アンケート「学校（先生）は、電話などで、家庭との連絡をきめ細かく行っている」に対する肯定的回答が 80%程度でした。個別に指導した内容など必要に応じ、電話や連絡帳などで家庭連絡を行い、家庭と学校とが連携して教育活動を進めていきたいと考えます。
- (7) **【読書活動】** 保護者アンケート「子どもはふだんから本を読んでいる（読書している）」に対する肯定的回答が 50%程度でした。本年度、新型コロナウイルス感染予防にかかわり「ボランティアによる読み聞かせ」などの活動を縮小してきました。読書は子どもの豊かな心を育むという面においても、学力を伸ばすという面でも大きな役割を果たします。来年度は、「朝の読書」や「読み聞かせ」等の活動を充実させていきます。また、家庭とも連携しながら、読書活動に取り組ませていきたいと考えます。

- (8) **【基本的生活習慣】** 保護者アンケート「子どもは、早寝早起き朝ごはんに気をつけて生活している」に対する肯定的回答は 80%程度、「子どもは、家庭学習にまじめに取り組んでいる」に対する肯定的回答は 70%程度の結果でした。子どもたちの健やかな成長のためには「基本的生活習慣の確立」が欠かせません。各家庭での声がけをお願いいたします。

5 成果と課題

- (1) **【ア 現職教育の充実】** プログラミング学習について講師をお招きし、研修を深めることができました。また、環境整備としてプログラミングロボットの整備を進めることができました。いじめにかかる問題が生じたときには、早期発見、早期対応を心がけ、職員で情報を共有して問題に対応することができました。
- (2) **【イ 学習指導の充実】** わかる授業、きめ細やかな指導の工夫を学校体制で取組を進めることができました。今後もより一層、学ぶことの楽しさと充実感が味わえる教材開発が必要だと考えています。また、「漢字、計算コンクール」の継続的な実施は、基礎学力の定着に効果を上げています。
- (3) **【ウ 家庭や地域社会や他校との連携】** 新型コロナウイルス感染予防にかかわり、あいさつ運動や昔遊びの会などについて本年度の開催を見合わせました。そのため、例年延べ人数で 250 名以上の方々に参加していただいているボランティア活動が本年度は 50 名程度となりました。また、小学校に園児を招待するなどの体験活動についても活動を見合わせました。来年度は感染予防を徹底しながら再開できるものについては取り組んでいきたいと考えています。
- (4) **【エ 健康・安全教育の充実】** 津島警察署やスクールガード、交通安全教室ボランティアの方々に協力いただき、交通安全教室を行いました。交通安全教室を通して、自ら安全に行動できる力や態度を育成することができました。

6 改善策

(1) 現職教育の充実

- ・ 教師の力量向上に向けて「学び合い」を取り入れた授業にかかわる研修を行い、主体的・対話的で深い学びを日々の授業で具現化していきます。研修では、校内授業研究を計画的に行い、教員同士が互いの授業から学び合える環境を整えていきます。
- ・ G I G A スクール構想の実施を受け、学校の I C T 環境を充実させるとともに、それらの機器を有効に活用することで子どもたちが学習内容を深く理解できる授業づくりを進めます。
- ・ Q-U アンケートの結果を学級作りの参考にするため Q-U 研修を年 2 回行います。また、子どもたちの自尊感情や自己有用感が育まれているかを確認することでいじめや不登校の未然防止に努めていきます。
- ・ あま市主催の研修 (A T C)、市内小中学校の学校訪問などの機会を活用し、研修の機会を職員に提供していきます。受けた研修の資料等は、配付したり、データで閲覧できるようにしたりできるようにして共有していきます。

(2) 基本的生活習慣の確立

- ・ 子どもたちの家庭環境は様々ですが、子どもたちの自立ために、基本的生活習慣についての指導、支援を一層充実させていきます。学校では、「早寝・早起き・朝ご飯」「あいさつ」「マナー」などについて、P T A 総会、懇談会、各種たより等で繰り返し啓発していきます。また、養護教諭、栄養士、保健師などの専門的な立場からの話を聴く機会を保護者向けにも計画していきます。